

千葉大学文学部入学者受入れの方針

1 千葉大学文学部の求める入学者

文学部では、人間という計りきれない存在を、行動、社会、歴史、言語、文化、芸術などの諸側面から、さまざまな視点や方法を用いて学びます。その学びを通して、自己を知り、世界を知り、自己の生きていく方向や自己を託す世界の進み方、自己と世界との関係の作り方を模索します。

そうした学問的な営みから、すべての時代に通じる知識と技能を持ち、狭い学問領域にとらわれない人文科学的素養を身に付け、独創的発信力をもって社会に貢献するとともに、自らの人生をもより豊かなものにできる人材を育成します。

文学部では、このような人材を育成するために、次のような入学者を求めています。

1. 日本語・外国語の運用能力を持つ人
2. 論理的・数理的思考能力を持つ人
3. 日本と世界の歴史・文化・社会に関する広い関心を持つ人

2 入学者選抜の基本方針

千葉大学の入学者選抜の基本方針、並びに文学部の入学者受入れの方針を反映させるためには、しっかりとした基礎学力のある人材を選抜することとともに、さまざまな背景や考え方を持つ入学者が互いに刺激し合いながら学問を探究していける環境をつくり出すことが重要であると考え、受験機会の複数化を保証しています。前後期の個別学力検査の他に、高等学校までに優秀な成績を修めると同時に意欲的に社会活動や生徒としての活動を行ってきた経験を重視する学校推薦型選抜や、社会人としての経験を重視する社会人選抜、また、先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜、私費外国人留学生選抜、総合型選抜、3年次編入学試験などによっても、入学者の多様化を進めています。

1. 一般選抜

(1) 前期日程

大学入学共通テストの成績（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）、個別学力検査の成績、調査書の内容を総合的に評価します。

(2) 後期日程

大学入学共通テストの成績（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）、個別学力検査の成績、調査書の内容を総合的に評価します。

2. 特別選抜

(1) 総合型選抜

課題論述、面接、提出書類（自己推薦書等）の内容及び大学入学共通テストの成績（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）を総合して評価します。

(2) 学校推薦型選抜

高等学校で優秀な成績を修めている者に対して大学入学共通テストを免除し、出願書類（調査書、推薦書及び志願理由書）、小論文及び面接により総合的に評価します。

(3) 社会人選抜

すでに社会人としての経験を持ち、なお大学での歴史学の勉学を希望する者を対象に、出願書類（調査書、志望理由書及び履歴書等）、小論文及び面接により総合的に評価します。

(4) 私費外国人留学生選抜

日本国籍を有しない者で、別に定める一定の要件を満たした者に対して、出願書類、日本留学試験及び面接により総合的に評価します。

(5) 3年次編入学

大学，短期大学または高等専門学校を卒業した者及び見込みの者，大学に2年以上在学し，62単位以上の単位を修得した者及び同要件を満たす者に対して，提出書類（出願理由書，論文等），筆記試験及び口述試験により総合的に評価します。

(6) 先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜

先進科学プログラムの入学者選抜の基本方針に基づき評価します。

3 入学までに身に付けて欲しいこと

日本と世界のさまざまな事柄に対する広い関心や強い好奇心は，基礎学力を身に付けるための動機となるものです。自ら疑問点や問題点を見つけ，それらを解決し，他の人に説得的に説明しようとする態度を身に付けておくことが必要です。また，日本語と外国語は，文法や語彙の勉強だけでなく，実際に使われていることばの観察によって言語感覚を磨くことが大切です。

なお，文学部では専門性を深めていくために，入学後は専門性に対応した4つのコースのうちのいずれかに所属して学修していきます。それぞれのコースで学ぶに当たっては，特に以下のような能力や姿勢を身につけておくことが望まれます。

行動科学コース：読解力，論理的思考力，及び数理的能力を中心に，地理歴史・公民・理科にわたる幅広い基礎学力，並びに問題を自ら積極的に探求する姿勢。

歴史学コース：日本・世界の歴史に関する幅広い知識とともに，特定の分野にとどまらない教養を身につけて，社会や文化について歴史的に考えようとする姿勢。

日本・ユーラシア文化コース：国語をはじめ，地理歴史・公民，外国語にわたる幅広い基礎学力，並びに日本及びユーラシア諸地域の歴史・地理や言語文化について積極的に理解しようとする姿勢。

国際言語文化学コース：世界の出来事に対して関心を持ち，日本及び世界諸地域の地理・歴史・文化について理解しようとする姿勢，並びに外国語の高度な運用能力。